

● 草の根パートナー型

平成21年度第一次補正予算による草の根技術協力事業 緊急経済危機対応-フォローアップ型採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ケニア
2. 事業名	ムインギ東県ヌー・ムイ・グ二郡における住民の学校運営能力向上と住民参加型教室建設事業
3. 事業の背景と必要性	先行事業として、既存の小学校において主に保護者が参加する住民参加型教室建設を12校12教室で実施・完成した。本事業では、先行事業のなかで形成してきた保護者を責任主体とした住民参加型教室建設の手法を適用し、参加する保護者の学校運営能力向上をめざす。状況の変化としては、小学校の新設が活発化し新たな教室建設のニーズが発生するとともに、これら新設校の多くは地域の辺縁地に位置し、保護者数も学校運営の経験も少なく、運営基盤が脆弱な傾向にある。これら新設校を優先した協力を実施することにより、学校運営能力の強化に大きく貢献することが期待できる。
4. 事業の目的	事業に参加した保護者が、学校での合意形成と実行、建設資材の適正管理、建設工程全般の理解と工程管理、現地資材の適切な加工や建設の技術、職人や作業参加者の監督などの学校運営能力を向上させる。
5. 対象地域	東部州ムインギ東県ヌー・ムイ・グ二郡
6. 受益者層	直接受益者：対象地域の6小学校の保護者（240名） 間接受益者：6小学校に通学する子ども(960名)
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当会との教室建設が合意される 郡ごとの郡教育官と連携し、教室建設のニーズの高い小学校の選定を行い、それら学校の校長と保護者代表との予備的意思確認を得て、事業実施についての保護者総体との合意形成を行う。 2. 教室建設において準備作業が完了する 教室建設に必要な資材を全て収集し、建設職人の選定と報酬支払いの目処をたてた時点で、準備作業を完了する。この準備作業を円滑に行い、かつ保護者の能力向上を目指し、建設に必要な技術、管理方法について指導する。 3. 教室建設が完了する 学校との教室建設に関する事業協力覚書（MOU）を締結後、建設資材の提供を行い、建設作業を開始。職人ならびに保護者に対する技術指導を行い、教室建設を完成する。
8. 実施期間	2009年12月～2011年12月（2年）
9. 事業費	14,990千円
10. 事業の実施体制	プロジェクトマネージャー1名、調整員2名、現地調整員2名、現地調整員補助3名、教育調整員1名、建設専門家2名、保健または環境専門家1名の計12名を適宜配置する。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 アフリカ地域開発市民の会（CanDo）
2. 活動内容	1998年よりケニアの村落地域で、教育・環境・保健分野での地域住民の社会的能力向上に基づく自立的総合的な地域開発事業を実施